



八王子シルバーニュース

# おおるい

No.341 2014年11月

発行 公益社団法人八王子市シルバー人材センター



〒192-0062 八王子市大横町 11-35  
TEL 042 (626) 1274  
FAX 042 (626) 5159  
メールアドレス: hachioji-sc@sjc.ne.jp  
ホームページアドレス:  
<http://www.sjc.ne.jp/hachioji-sc/>

## センター事業の更なる発展をめざして

～平成27年度予算の編成方針が承認されました～

例年、夏の終わりから秋にかけては来年度のセンター運営の方向性などについての議論が行われます。今年も足立原会長と内山副会長は、8月6日に石森市長を表敬訪問し、センターの現状についての報告から就業率や事業の公民比（事業全体における公共からの受注額と民間事業者からの受注額の比率）の課題などについて八王子市に対し積極的な協力を要請してまいりました。

この要請行動から来年度事業の在り方についての検討が始まり、事務局からの提案事項について総務委員会での承認を経て、10月15日開催の第8回理事会で「平成27年度予算編成方針」が承認されました。

各年度の予算編成方針や、基本的な事業計画は平成25年度から平成29年度までの5カ年の事業計画をまとめた「第2次中期計画」を基に立案されています。

平成27年度はこの5カ年計画の中間の年になるため、計画と現状との擦り合わせも行いました。最近の社会状況の変化や、それに伴う経済状況の変化は大変早く、1年間の変化は想定を超えるものがあります。予算編成方針の検討にあたり、中期計画の平成29年度事業の目標値を精査したところ、現状から想定する数値との大幅な乖離が見込まれることから、理事会では「第2次中期計画」の平成29年度事業の目標値についても修正を行いました。

### 平成27年度重点目標

平成27年度は第2次中期計画の数値目標を基準に、計画に示されている「計画の基本方針」の5つの活動基本方針を踏襲した上で次の4項目を重点に事業を進める。

1. 会員の拡大
2. 就業機会の拡大
3. 就業開拓専門員による就業開拓の拡大
4. ワークシェアリングの推進

### 平成29年度末の目標値（当初の目標値）

1. 年間受託件数	13,420件	(12,600件)
2. 会員数	2,650人	(2,850人)
3. 就業率	75%	(75%)
4. 契約金額	805,450千円	(853,000千円)
5. 就業延べ人員	177,330人	(176,000人)

## 理事・監事選考委員会がスタートしました

～センター運営の中心となるメンバー

候補の選考にあたります～

現在の理事会を構成する役員（理事・監事）の任期が平成27年6月に開催される定時総会をもって満了となるため、定時総会では次期役員を選任しなくてはなりません。

次期役員を選考は、理事会が理事・監事選考委員会に役員候補を諮問し、答申を受けた役員候補を定時総会に推薦し、会員の承認を得なければなりませんので一定の準備期間を要します。

理事・監事選考委員会は、10月10日に第1回の会議を開催し新たな役員候補者の選任に入りましたので、ご協力をお願いします。

### 理事・監事選考委員会名簿

	構 成 員	氏 名 (会員番号)
1	総務委員会委員長	深須達男 (特35)
2	業務委員会委員長	橋本省三 (6445)
3	広報委員会委員長	長田 茂 (8027)
4	地域委員会委員長	石田鎮男 (6220)
5	安全管理委員会委員長	内山善章 (7106)
6	女性委員会委員長	高部 勇 (6368)
7	中部地区会員	杉山光男 (7854)
8	東部地区会員	佐俣雅雄 (6247)
9	西部地区会員	西山康雄 (9469)
10	南部地区会員	佐々木民治 (5454)
11	北部地区会員	渡邊健次 (5966)
事務局	事 務 局 長	榎本俊也 (職 員)

## 就業情報を掲載します！

～平成27年1月1日号『生きがい八王子』新年号～  
毎年3回発行している「生きがい八王子」は、今年度は予算の関係で2回になり、5月（発行済）と1月（新年号）が発行されます。

1月号では、特定職場（多くの会員が就業を希望する職場）で就業する会員が既定の期間を満了するため、後任の会員を募集します。

これは、ワークシェアリングの一環として毎年取り組んでいるものですが、未就業会員の人数に比べて応募者数が少ないのが現状です。今回の「おおるり」を読まれた未就業の会員で、1月1日「生きがい八王子」の就業情報に希望する就業先がある方はセンター窓口で応募してください。数には限りがありますが就業のチャンスはご自身で確保してください。

## 家事援助やってみませんか

～本年6月18日医療・介護総合推進法の  
成立により高齢者ニーズが多様化～

65歳以上の高齢者人口は、過去最高の3,079万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）も24.1%に進み、超高齢社会の到来とともに介護保険制度も改正され、センターが実施している家事援助事業に対する期待も高まってくるのが予想されます。

センターでは、平成20年度から高齢者世帯の生活を支援するシルバーサポーター事業を八王子市から受託し、年々実績が高まっています。

家事援助の仕事に興味のある方はセンターまでご連絡ください。

担当：藤森

## 今年度下半期の『事故ゼロ』目指して楽しく就業

～当センターの上半期の事故発生状況～

「おおるり」10月号では、東京連合（都内58センターが加盟）の平成25年度の事故状況をお知らせし、就業中や就業途上の事故防止をお願いしましたが、今般、当センターの平成26年度上半期の事故件数が確定しましたのでお知らせいたします。

今年度（上半期）は、傷害事故、賠償事故ともに昨年度（上半期）の発生件数を上回ってしまいました。事故原因の傾向を見ますと、傷害事故（会員本人がケガをしたもの）では4件中2件が転倒に伴う受傷で、東京連合と同様の傾向となっています。また、賠償事故では、作業マニュアルに従い、基本通りに作業に従事していれば事故を防止できたものも見られました。

これからの季節は、寒さも増してくることから体の動きも緩慢になってきますので、就業途上では足元に十分注意し、自転車等を利用される方は余裕をもって交通ルールに従って乗車し

てください。また、就業にあたっては準備運動やストレッチを行い無理のない姿勢で仕事に臨んでください。

上半期の事故発生状況（4月～9月）

	26年度	25年度	24年度	23年度
傷害事故	4件	3件	8件	8件
賠償事故	3件	2件	4件	2件
合計	7件	5件	12件	10件

10月の入会者数

男	女	計
13人	5人	18人

9月末日の会員数

男	女	計
1,846人	490人	2,336人